

学校名	笠岡市立吉田小学校	学校長名		事業名	放課後学習サポート事業	0	0	0
-----	-----------	------	--	-----	-------------	---	---	---

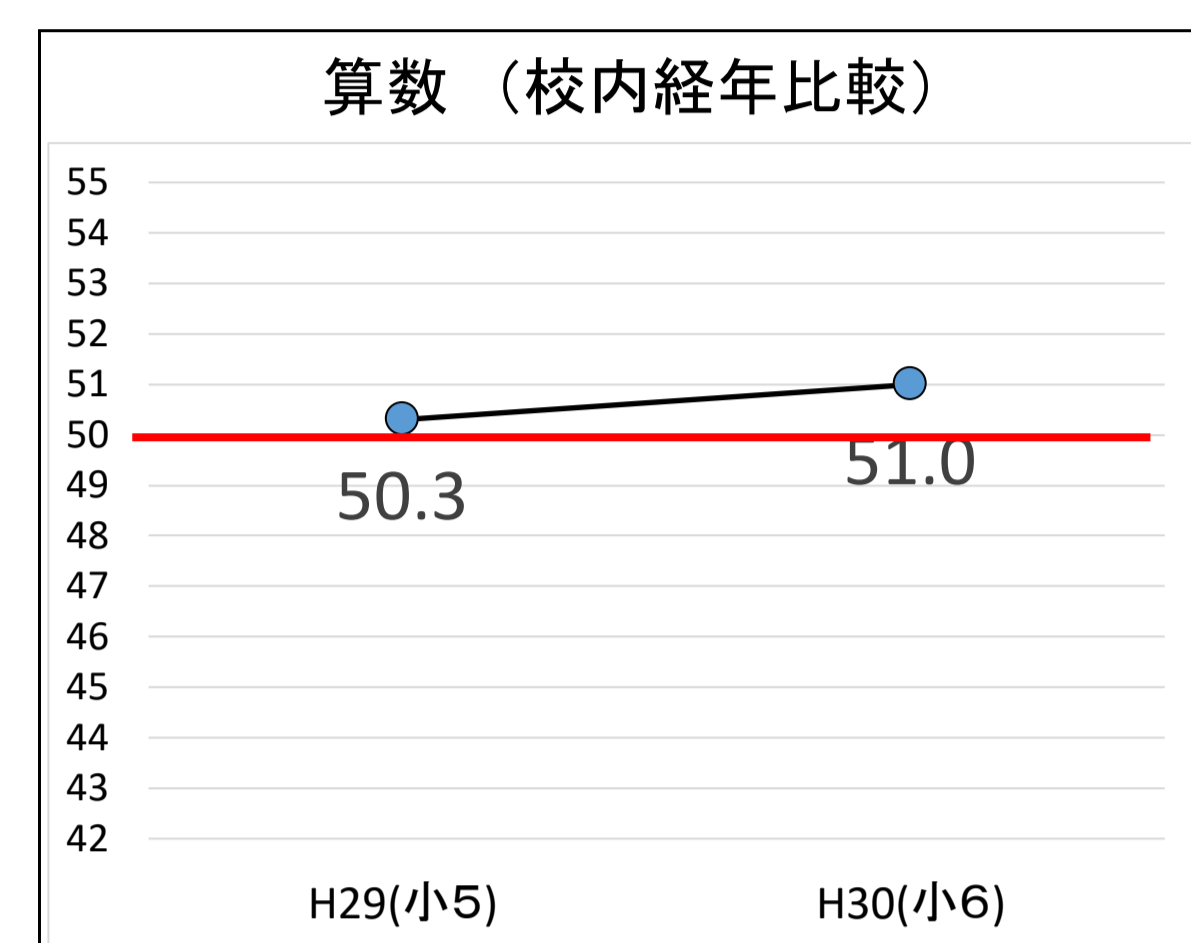
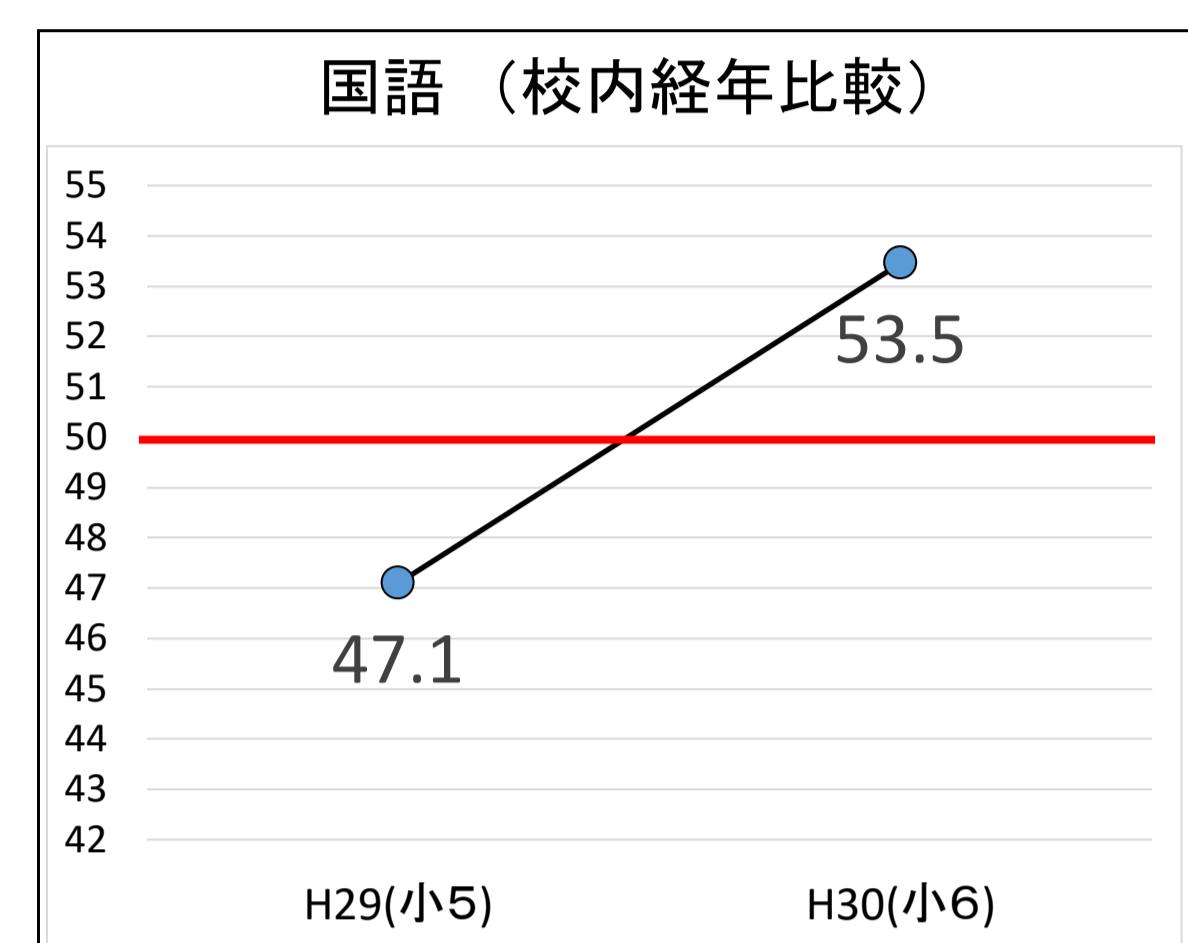
調査結果の概要

科目	国語A		国語B		国語 標準スコア	算数A		算数B		算数 標準スコア	理科	
	平均正答率	無解答率	平均正答率	無解答率		平均正答率	無解答率	平均正答率	無解答率		平均正答率	無解答率
貴校(本年度)	9.8	0.5	4.8	4.9	53.5	9.3	4.0	5.3	10.6	51.0	10.2	1.4
岡山県(公立)	8.5	3.3	4.3	3.5		8.7	2.3	5.0	7.6		9.6	1.1
全国(公立)	8.5	3.5	4.4	3.8	50.0	8.9	2.5	5.1	7.9	50.0	9.6	1.2
全国との差	1.3	3.0	0.4	-1.1	3.5	0.4	-1.5	0.2	-2.7	1.0	0.6	-0.2

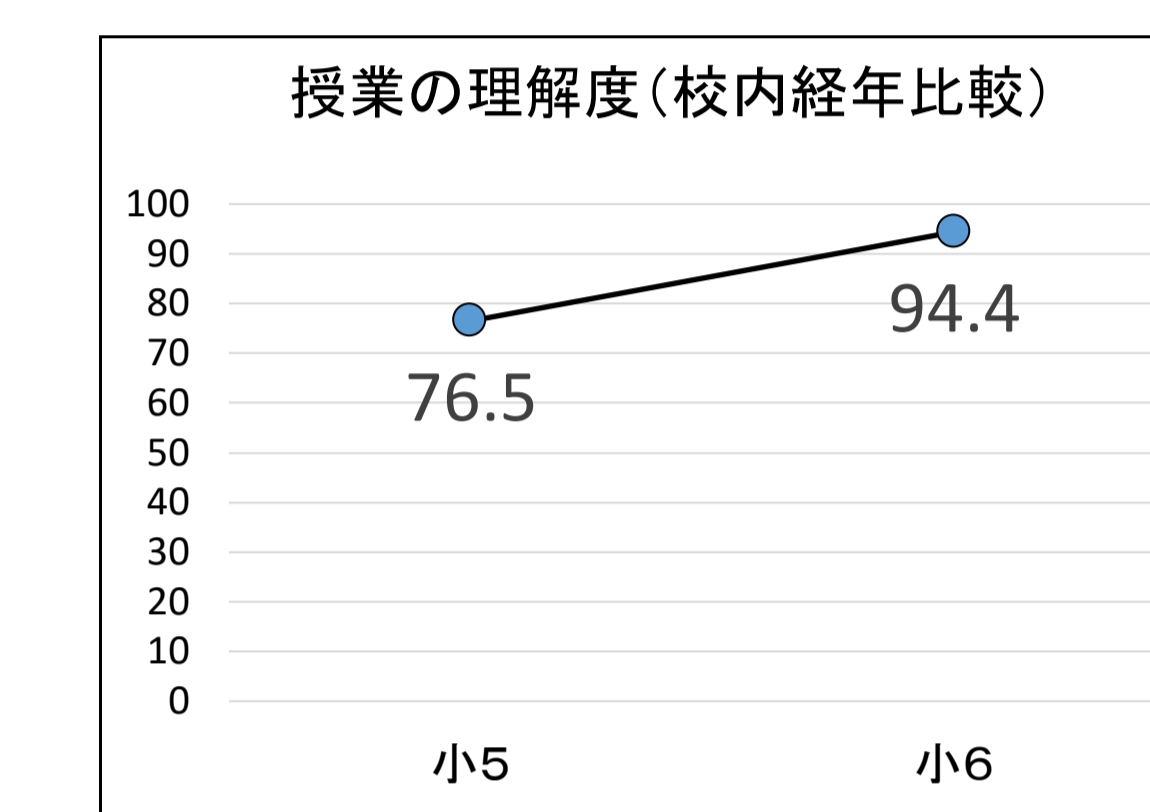
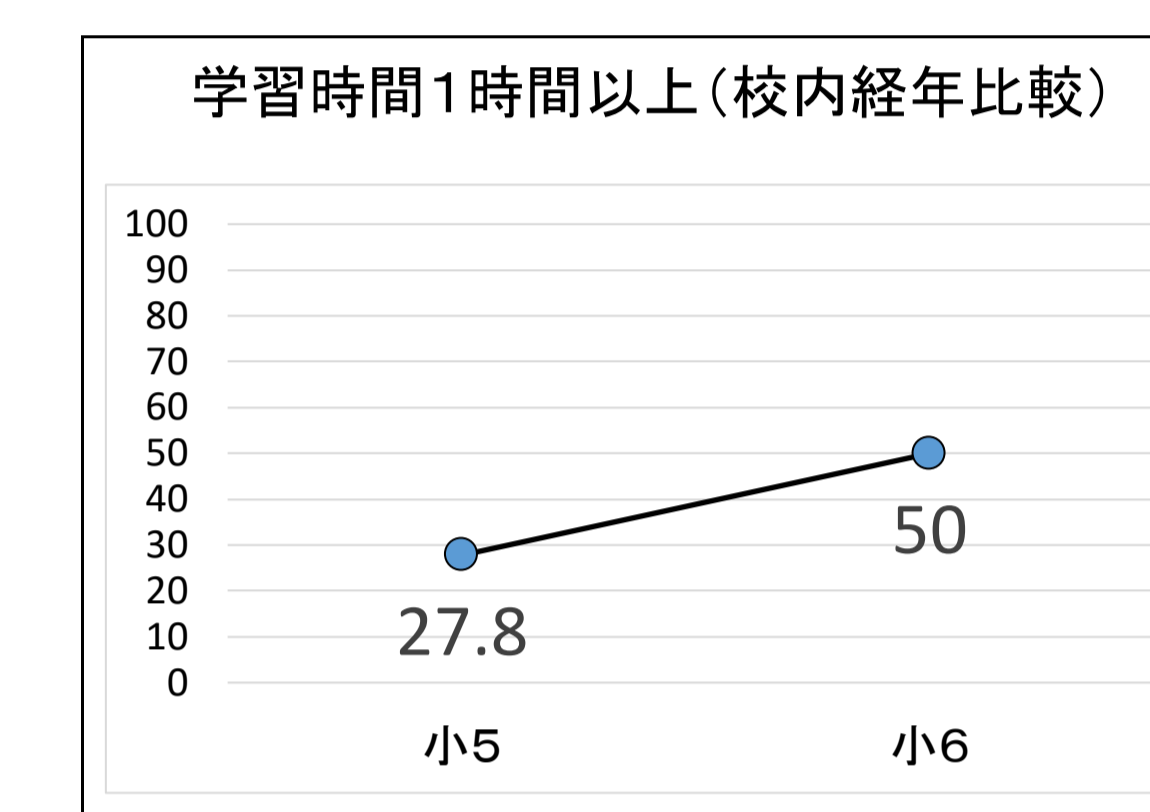
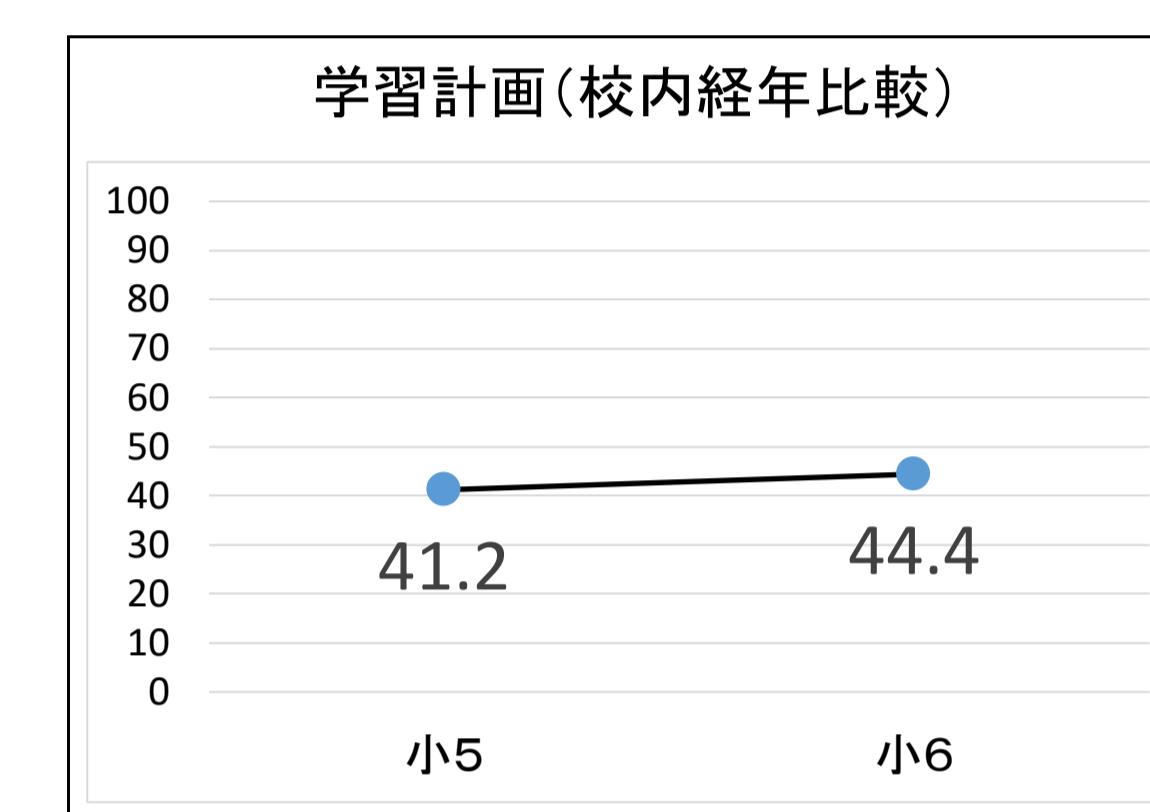
※国語と算数の標準スコアは、各校の平均正答率を入力していただければ、換算できるように、数式を入れてあります。

	国語	算数
小5時(H29)	標準スコア 47.1	標準スコア 50.3

※ 標準スコアは、平成29年度納品データの〇〇立〇〇小学校①学力(00)の【Web経年】の、各教科の小5の標準スコアを転記してください。



質問項目	肯定率(H29は県調査、H30は全国調査)		H30 全国との差	
	H29(校内)	H30(校内)	H30(全国)	全国との差
(10) 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。(肯定率=している+どちらかといえば、している)【参考】 H29 県調査小5質問紙(30)	41.2	44.4	67.6	-23.2
(14) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)(肯定率=1時間以上)【参考】 H29 県調査小5質問紙(追加質問14)	27.8	50	66.2	-16.2
(29) 算数の授業の内容はよく分かる。(肯定率=当てはまる+どちらかといえば、当てはまる)【参考】 H29 県調査小5質問紙(89)	76.5	94.4	83.4	11.0



全国学力・学習状況調査の結果の分析 (※ 昨年度(小5時)との経年比較、今年度の全国比較の結果を踏まえて記入)

成果	課題
<p>【学力状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の調査結果に比べ、国語・算数共にスコアがアップした。特に、国語科においての伸びが顕著である。 ・全国と比較しても、全調査科目において上回っている。 ・朝学習においてスパイラル的に基礎基本事項を徹底することによって、知識・技能の定着を図ることができた。 <p>【学習状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習計画」「学習時間」「授業の理解度」の項において、昨年度よりも向上している。 ・「授業の理解度」の項においては、全国と比較して大幅に上回っている。 	<p>【学力状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級内での学力差がかなりあり、上位層と下位層に2極化しているため、下位層の学力アップが大きな課題である。 ・岡山県学力・学習状況調査結果によれば、調査対象である3年生から5年生の学力が相当低いため、早急な学力向上が必要である。 ・示された条件をもとに、必要な情報を整理したり筋道を立てて考えたりし、そのことを文章で記述する問題の正答率が相変わらず低い。 <p>【学習状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べ向上したとはいえ、「学習計画」「学習時間」共に、全国よりはかなり低いことから、学習意欲については課題がある。 ・生活習慣の項についても全国と比べかなり下回っているため、学習意欲の低さと併せて、「学び」への意識向上が課題である。 ・3年生から5年生についても、6年生と同様に学習への意識はかなり低い。児童だけでなく家庭の意識を改革していく必要がある。

具体的な改善の目標設定とその方策

何を(改善すべきこと)	いつまでに(成果検証の期限)	どこまで(対象と達成目標の設定)	どのように(方策)	達成状況(12月末現在)	達成度	達成状況(2月末現在)	達成度	次年度への改善点
<p>【学力状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の充実、自主学習への積極的な取り組み <p>・振り返りのよさを児童が実感し、書く力を伸ばすことができる取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期末の第3回合同研修会までに ・年度末までに 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習全員提出 ・自主学習を週1回以上全員実施 ・1日1回以上、授業後の振り返り記述 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の漢字・計算・音読に加えて、+αの家庭学習の取り組みを行う。 ・自主学習の好事例の紹介を引き続き行う。 ・自分の考えを記述することが習慣化し、次第にテーマに即した記述となるように、授業後の振り返りを1日1回以上実施する。 ・振り返り教科に偏りがないように、週案簿に実施の有無を記録する。 					
<p>【学習状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学び」への積極的な意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末までに 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の児童の学習習慣、生活習慣の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「よい子のくらし」で実態を把握すると共に、「よい子のくらし家族会議を開きましょう！」の文書を全児童に配付し、生活習慣の向上を図る。 ・「親育ち応援学習プログラム(冊子)」等を活用して、学級懇談で家庭学習に対する保護者の啓発を行う。 					

※達成度 「S:目標を大きく上回った(100%超)」「A:目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」「B:目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」「C:目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」「D:目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」「E:目標を達成できなかった(30%未満)」

小中連携の取組	保護者・地域へ理解・協力を求めること
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区で定期的に研修会を設け、そこで、キャリア教育部会・生活部会・学習部会ごとに各校の取り組みについての確認や共有することについて情報交換を行う。 ・中学校の定期考査に合わせて、家庭学習強化週間を設け、メディアやゲームの時間を減らす取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の協力を得て家庭での学習習慣の確立を図る。 ・「よい子のくらし」等の生活習慣の調査を通して基本的な生活習慣の確立を図る。 ・学習支援ボランティアや読み聞かせボランティア等を通して、基礎学力の定着や読むことへの意欲向上を図る